



# あいかわ 議会だより

第 151 号

平成28年11月15日発行

責任者 議会議長 小島 総一郎  
年4回発行・本号18ページ

新企画

「議会クイズ」を  
スタート！(P18)

表紙の写真：町民みなふれあい体育大会

平成27年度 決算議案を認定

P 3

陳情 1 件を採択 意見書を提出

P 4

愛川キエーロ購入費補助増額等の補正予算案を可決

P 2

※町議会では議会だよりに使用する写真を募集しています。応募要領は2ページをご覧ください。

〈第3回9月定例会〉

◎発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

議会メールアドレス gikai@town.aikawa.kanagawa.jp 町HPアドレス http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/

平成28年第3回愛川町議会「9月定例会」が8月29日から会期24日間（本会議開催日6日間）にわたり開催され、平成27年度各会計決算の認定をはじめ、固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、補正予算など、9件の町長提出議案について審議し、全議案を可決するとともに、議員提出議案として、国への意見書の提出を可決しました。

人事議案

◎固定資産評価審査委員会委員の選任  
 (賛成全員)

前任委員の任期満了に伴い、次の方を選任することに同意したものです。  
 中津在住 大野 晋 氏

◎教育委員会委員の任命  
 (賛成全員)

前任委員の任期満了に伴い、次の方を任命することに同意したものです。  
 半原在住 大貫 洋 氏

補正予算

◎平成28年度一般会計補正予算(第1号)  
 (賛成全員)

歳入歳出予算のそれぞれに4千627万6千円を追加し、一般会計の総額を123億5千427万6千円としたものです。  
 主な内容としては本年度新たに町産木材を活用した生ごみ処理機「愛川キエーロ」の購入費補金の増額のほか、現在使用している町長車の更新、既存小規模福祉施設スプリンクラー等整備事業費などです。



議会だよりの  
 写真を募集

町議会では、「議会だよりのあいかわ」の表紙や紙面に掲載する写真を募集しています。

町内の風景・風物など季節の写真、子どもが遊ぶ姿や元気な赤ちゃんの写真など、あなたの写真で表紙を飾りませんか。  
 ■応募資格 町内在住または在勤の方

■作品規格 撮影者自身に著作権のある未発表のオリジナル作品で、縦・横どちらでも結構です。データの形式は、jpg形式で、データ容量は

平成28年 第3回定例会日程

| 月  | 日  | 曜   | 会議名   | 主な内容   |
|----|----|-----|---|--|
| 8  | 29 | 月   | 本会議   | 陳情1件の所管常任委員会への付託、固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、町長提出議案の説明 |
|    | 30 | 火   | 本会議   | 一般質問(6人)   |
|    | 31 | 水   | 本会議   | 一般質問(6人)   |
| 9  | 5  | 月   | 本会議   | 補正予算議案の個人総括質疑・討論・採決                                    |
|    | 7  | 水   | 本会議   | 平成27年度決算議案の会派代表総括質疑、委員会分割付託の決定                         |
|    | 9  | 金   | 総務建設常任委員会                                   | 付託案件の審査  |
|    | 12 | 月   | 教育民生常任委員会                                   | 付託案件の審査  |
|    | 13 | 火   | 総務建設常任委員会                                   | 付託案件の審査  |
|    | 14 | 水   | 教育民生常任委員会                                   | 付託案件の審査  |
| 21 | 水  | 本会議 | 付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決、議員提出議案の説明・質疑・討論・採決 |  |

議会審議状況を  
 ライブ・録画中継

町議会では、町民参加を基本とする開かれた議会を実現するため、インターネットによる議会本会議のライブ中継、録画中継を行っています。

視聴にあたっては、「愛川町議会ホームページ」内の「愛川町議会インターネット中継」の項目をクリックして進んでください。

なお、録画中継の視聴可能期間は、ライブ中継終了後、概ね3日後から約3年間となります。

2メガ以上5メガ以下プリントの場合は、2Lサイズ以上

■応募方法 撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日、作品のテーマ、その説明を添えて、データの場合は電子メールで、プリント

写真の場合は郵送でお送りください。(随時受付)  
 【電子メールアドレス】  
 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

【郵便送付先住所】  
 〒243-0392  
 愛川町角田251-1  
 愛川町役場議会事務局宛

■注意事項  
 ・人物が特定できる場合

は、本人の承諾を得てください。  
 ・応募作品は、原則として返却しません。

・編集委員会で協議した結果、応募作品を掲載できない場合があります。  
 ・編集上、写真をトリミングする場合があります。  
 ・採用された写真の著作は、町に帰属します。

・採用された写真は、応募者の氏名を表紙に掲載します。希望しない場合は応募の際に「氏名の掲載は辞退します」などと明記してください。  
 ・採用者への謝礼はありません

### 平成27年度 各会計決算額

| 会 計  |       | 歳 入           | 歳 出           |
|------|-------|---------------|---------------|
| 一般会計 |       | 123億4,250万5千円 | 118億9,814万7千円 |
| 特別会計 | 国 保   | 66億4,798万8千円  | 66億1,300万9千円  |
|      | 後期高齢者 | 3億6,653万7千円   | 3億4,828万9千円   |
|      | 介護保険  | 24億9,200万2千円  | 24億1,144万2千円  |
|      | 下水道   | 12億9,621万3千円  | 12億8,649万1千円  |
| 企業会計 | 水道    | 7億9,210万1千円   | 10億4,804万6千円  |
| 合 計  |       | 239億3,734万6千円 | 236億542万4千円   |

※議長は除く  
(以上賛成全員)

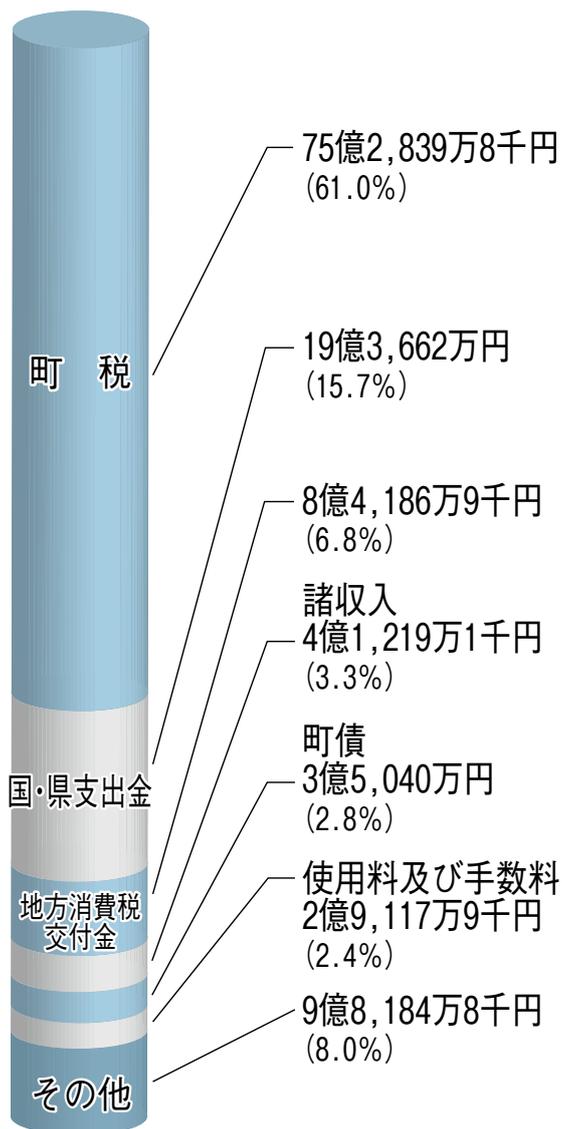
の財政運営の適正化を図っているものです。

- ◎ 一般会計歳入歳出決算の認定 (賛成全員)
- ◎ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 (以上賛成12人、反対3人)
- ◎ 下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定

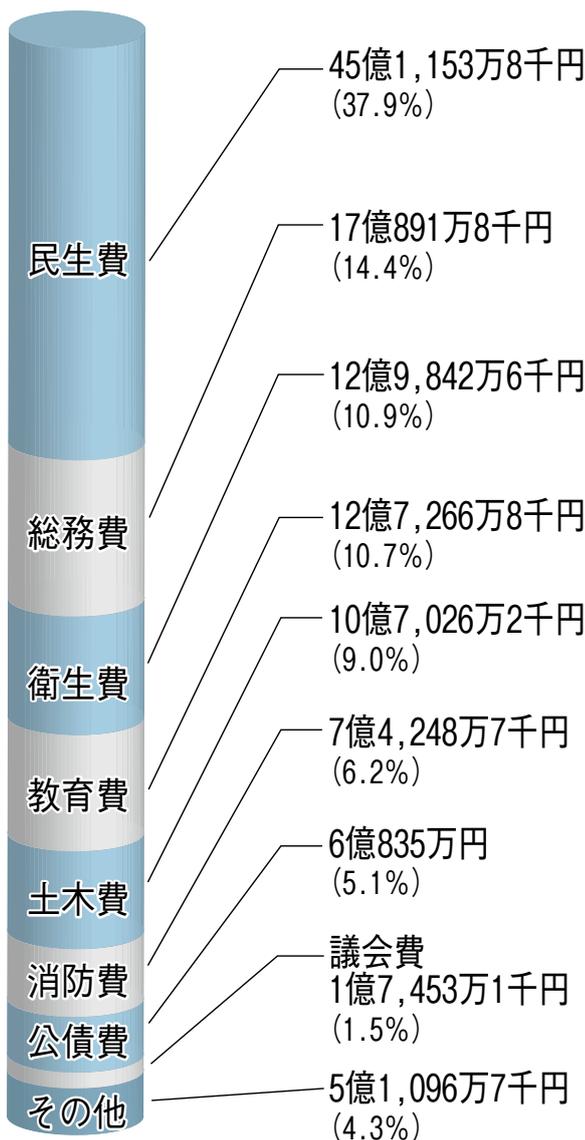
議会は、一会計年度の歳入歳出決算について、その内容を審議しなければなりません。これは、予算が当該年度の予定の見積りであり、必ずしも当初の予測そのままに運営されるものではないため、具体的な事業内容や執行の実績・結果について、執行機関が議会の審議に付するもので、議会の監視により町の財政運営の適正化を図っているものです。

# 平成27年度各会計決算を認定

#### 一般会計歳入構成



#### 一般会計歳出目的別構成



平成28年第3回(9月)定例会 陳情結果表

陳情のゆくえ

| 件名   | 陳情者  | 付託先           | 審査結果 |
|--|--|---------------|------|
| 町立小学校夜間照明設置に関する陳情書   | 愛川町半原2548-8<br>パレス半原101<br>半原レッドデビルズ<br>代表 平山 裕子             | —             | 机上配付 |
| 義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する陳情 | 相模原市中央区富士見6丁目6番13号<br>湘北教職員組合<br>執行委員長 福岡 修一                 | 教育民生<br>常任委員会 | 採択   |
| 日米地位協定の抜本的改定を求める陳情   | 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2階<br>自主・平和・民主のための広範な国民<br>連合 神奈川<br>代表 岩佐 晴夫 | —             | 机上配付 |

意見書の提出を可決

※意見書の内容は要望事項のみ掲載しています

◎義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等をと水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障を求める意見書の提出 (賛成全員)

義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障を求める意見書

- 1 教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償制度を継続すること。
- 2 ゆきとどいた教育を実現するために、学級編成標準の見直しや教職員の定数改善、35人以下学級の着実な実施・進行など、教育環境を整備するための予算を確保・拡充すること。

内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣 殿

各常任委員会 8月所管事務調査

所管事務調査とは、常任委員会がその所管する事務を自主的に取り上げ、積極的に調査を行うことができる権限です。今回は、平成27年度事業の決算審査の補完的な位置付けとして、現地調査を実施しました。

総務建設常任委員会

8月9日(火)に、馬渡橋送水管布設替工事、町営原白住宅空家解体工事、塩川滝落石防護ネット設置工事、八菅山いこの森法面工事、中津工業団地第1号公園テニスコート改修工事等、12箇所の現地調査を実施しました。

教育民生常任委員会

8月10日(水)に、文化会館屋上防水改修工事、第1号公園体育館高窓開閉装置交換工事、愛川聖苑裏山獣害電気柵改修工事、高峰小学校及び田代小学校周辺通学路カラー舗装工事等、8箇所の現地調査を実施しました。



半原宮本地区を調査



第1号公園体育館を調査

# 各常任委員会での質疑要旨

## 総務建設常任委員会

問 「わたしの提案」の  
主な内容について

答 平成27年度は合計  
で66件の提案をいただき  
ました。

町の施設や公共サービ  
スに関するものが最も多  
く、道路・交通施策、子  
育て、防犯などに関する  
もの意見がありました。  
いただいた提案のうち、  
デング熱防止対策の周知  
中津、諏訪前の公園の樹  
木剪定、田代運動公園の  
喫煙所の整備などについ  
て採用しています。



役場に設置されている「提案BOX」

問 空き家対策の推進事  
業成果と課題について

答 平成27年4月に空き  
家バンク制度を創設し、  
登録された物件の取得及  
び改修に対する費用の一  
部を補助する制度を開始  
したところです。

192棟の空き家を把  
握し、うち居住が可能と  
判断した空き家63棟の所  
有者に対して、空き家バ  
ンクへの登録を呼びかけ  
る通知を送付しました。  
平成27年度末現在、10  
棟の空き家が登録され、  
うち2棟が成約に至って  
います。

この2棟については、  
改修を行ったことから、  
それぞれ20万円の補助金  
を交付したところです。  
課題としては、空き家  
バンクへの登録件数が現  
在14棟であり、うち6棟  
について売買または賃貸  
借契約が成約しましたが、  
今後、登録件数を増やす

とともに、成約に結びつ  
けていけるような取り組  
みが必要であると認識し  
ています。



町ホームページでも周知

問 スズメバチ等の駆除  
費助成金について

答 住宅の用に供する民  
有地及び共同住宅を含む  
民家において、スズメバ  
チが営巣した場合で、駆  
除事業者により巣の駆除  
を実施し、要件を満たし  
ている方に対し、駆除に  
要した費用の2分の1、  
または限度額1万円を助  
成するものです。  
平成27年度の駆除件  
数30件で、補助額は27  
万8千円の助成となつて  
います。

## 教育民生常任委員会

問 健康度見える化コー  
ナー関連経費事業の詳細  
について

答 3月に健康ブラザーに  
健康度見える化コーナー、  
未病センターあいかわを  
設置しました。

全自動血圧計、血管年  
齢測定器などの5種類の  
測定機器を設置し、来所  
された方が気軽に測定  
機器を使用し、健康度  
チェックが可能です。希  
望者には保健師、管理栄  
養士から測定結果の説明  
や生活習慣などに関する  
アドバイスを受けること  
もでき、健康づくりに役  
立てていただくことがで  
きるものと考えています。

問 LED防犯灯リース  
料の詳細について

答 本事業は、防犯灯の  
維持管理経費の削減と環  
境負荷の低減を図ると  
ともに、地域住民が安全で  
安心して暮らせるまちな  
づくりに努めるために、町

内全域の蛍光管型防犯灯  
をLED型防犯灯へ更新  
したものです。

本事業は、プロポーザ  
ル方式により業者を設定  
し、10年間のリース方式  
を採用しています。リー  
ス料については、10年間  
の総額で7千111万2  
千240円となっています。

なお、本事業を実施す  
るにあたり、二酸化炭素  
排出抑制対策事業費等補  
助金を活用し、更新時に  
係る工事費用の3分の1  
の1千579万2千円の  
補助を受けています。



健康度見える化コーナー

問 魅力ある学校づくり  
推進事業の成果と課題に  
ついて



魅力ある学校づくりへ

答 各学校が、地域に開  
かれた魅力ある特色を  
持った学校づくりを進め  
るもので、学習ポラン  
ティアを活用した学力向  
上の取り組みや、地域の  
方との環境美化などの取  
り組みを行っています。

成果としては、地域の  
方々や卒業生を講師とし  
て行った体験活動や部活  
動支援などにより、多様  
な教育活動を推進できた  
ことがあげられます。  
課題としては、限られ  
た予算を有効に活用し、  
さらなる創意工夫を凝ら  
していくことが必要であ  
ると考えています。

# 会派 議決一覧表 (平成28年第3回定例会)

※議長は表決には加わりません。 各会派賛否 ○…賛成、●…反対

| 議案番号         | 議案の件名  | 愛政クラブ<br>(4人)<br>小倉議員<br>馬場議員<br>山中議員<br>熊坂弘久議員 | 公明党<br>(3人)<br>井出議員<br>佐藤りえ議員<br>岸上議員 | みらい絆<br>(3人)<br>熊坂崇徳議員<br>小島議員<br>木下議員 | 共産党<br>(3人)<br>小林議員<br>井上議員<br>鈴木議員 | 新風あいかわ<br>(3人)<br>渡辺議員<br>佐藤茂議員<br>阿部議員 | 議決結果 |
|--------------|--|---|---------------------------------------|--|-------------------------------------|---|------|
| 議員提出<br>第2号  | 義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障を求める意見書の提出について | ○   | ○                                     | ○                                      | ○                                   | ○                                       | 可決   |
| 町長提出<br>第74号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について   | ○   | ○                                     | ○                                      | ○                                   | ○                                       | 同意   |
| 町長提出<br>第75号 | 教育委員会委員の任命について   | ○   | ○                                     | ○                                      | ○                                   | ○                                       | 同意   |
| 町長提出<br>第76号 | 平成27年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について   | ○   | ○                                     | ○                                      | ○                                   | ○                                       | 認定   |
| 町長提出<br>第77号 | 平成27年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について   | ○   | ○                                     | ○                                      | ●                                   | ○                                       | 認定   |
| 町長提出<br>第78号 | 平成27年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について  | ○   | ○                                     | ○                                      | ●                                   | ○                                       | 認定   |
| 町長提出<br>第79号 | 平成27年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について   | ○   | ○                                     | ○                                      | ●                                   | ○                                       | 認定   |
| 町長提出<br>第80号 | 平成27年度愛川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について  | ○   | ○                                     | ○                                      | ○                                   | ○                                       | 認定   |
| 町長提出<br>第81号 | 平成27年度愛川町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について  | ○   | ○                                     | ○                                      | ○                                   | ○                                       | 認定   |
| 町長提出<br>第82号 | 平成28年度愛川町一般会計補正予算(第1号)   | ○   | ○                                     | ○                                      | ○                                   | ○                                       | 可決   |
| 陳情<br>第9号    | 義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する陳情         | ○   | ○                                     | ○                                      | ○                                   | ○                                       | 採択   |

## 議会検討会実施状況

| 月 | 日  | 主な内容                       |
|---|----|----------------------------|
| 6 | 14 | 今後の日程等について                 |
|   | 30 | 第5次愛川町総合計画後期基本計画素案 提示・説明   |
| 7 | 6  | 総説・基本構想・後期基本計画の検討          |
|   | 14 | 第1・2部の検討                   |
|   | 21 | 第3・4部の検討                   |
|   | 27 | 第5・6部の検討                   |
| 8 | 3  | 最終確認                       |
|   | 5  | 小野澤町長へ提言書・意見書を提出           |
|   | 29 | 提出した提言書・意見書に基づく基本計画案の提示・説明 |
| 9 | 28 | 基本計画案に対する質疑・答弁             |

町では協働のまちづくりをすすめていくための指針となる「第5次愛川町総合計画」を、平成23年度から34年度までの12年間を計画期間として策定しています。

平成28年度をもって前期基本計画が満了するため、平成29年度から34年までの6年間の後期基本計画を策定するにあたり、議会では、平成28年6月に「第5次愛川町総合計画後期基本計画議会検討会」を議員全員で設置しました。総合計画後期基本計画(案)について検討を行い、8月5日に提言書・意見書を小野澤町長へ提出しました。

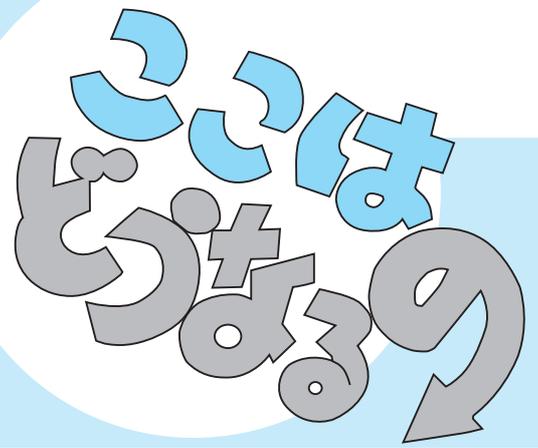
## 第5次愛川町総合計画後期基本計画 議会検討会 提言書・意見書を提出

小野澤町長へ提言書・意見書を提出



検討会の様子





# 一般質問

## 障がい者施設事件 町内施設の運営



山中 正樹議員

### 問

本年7月、相模原市内の障がい者支援施設で殺傷事件がありました。町内施設の運営について伺います。

## 県が指導監督 事業所と連携

町長 町が設置し指定管理者・委託により運営する福祉サービス事業所のほか、NPO等が運営主体となるものがあります。その指導監督は県の対応となっており、町は利用者支援や運営充実が図られるよう、事業所との連携に努めています。

## 認定農業者の現状 役割と増加方策

### 問

現行総合計画では、農業経営の強化と担い手育成の柱に認定農業者を据えています。そこで、認定農業者の現状と役割、就農者の増加方策について伺います。

## 20名から増加見込 中心的存在を育成

町長 平成7年度末には、県下最多の30名でしたが、現状では20名です。新規就農者の意向もあり、今後増加が見込まれます。役割については、「人・

農地プラン」で、今後の地域農業を牽引する中心となる経営体に位置づけられています。土地利用型の新規就農者を育成し、農用地の集積を図ることが重要です。  
農政課長 新規就農者を増やす方策としては、「青年就農給付金」を、24年度から給付しており、積極的に活用する考えです。

## ゴミ出し困難者 戸別収集の実施



井上 博明議員

### 問

高齢者など足腰を痛め、ごみ収集所に出せない方のために、戸別収集の実施をいただきたいが、取り組みについて伺います。

## 情勢に応じ見直し 検討が必要と認識

町長 ひとり暮らし高齢者の収集所へのゴミ出しが困難となる事例の顕在化など、社会情勢に応じた見直しも求められています。今後検討していく必要があるものと認識しています。

## ICTを活用した学力向上

### 問

ICT（情報通信技術）を活用した学力向上の取り組みについて伺います。

## タブレット型PC 今後研究が必要

教育長 普通教室におけるICTの活用方法の普及・拡大をはじめ、各教員が作成したプレゼンテーション教材やワークシ

ート教材などを共有フォルダで一括管理し、活用面での共有化を進めるとともに、児童・生徒の学習意欲や学力向上をより一層図るため、タブレット型パソコンの活用についても、今後研究していきたいと考えています。  
〈その他の質問事項〉  
観光・産業連携拠点づくり構想について



ICTを活用した授業



## 業務外の職員 の勤務時間と 役場休暇

小林 敬子議員

**問** 町職員の休暇と時間外勤務状況について伺います。

有給休暇6.5日

月12時間の残業

町長 388人の職員の有給休暇の取得状況は1人あたり平均で6.5日、取得率にすると16.8%で、取得率の低かった部署では平均日数は3日、取得率は8.1%から9.6%です。また、時間外勤務手当を支給している主査級以下の212人の平均時間数は月12時間程度となっています。

## 国保の現状と負担割合

**問** 国保の現状について伺います。また、

国保加入者の保険税と所得に占める割合で、世帯収入がそれぞれ300万円、450万円、600万円の場合の保険税額と所得に占める割合について伺います。

一般会計から繰入れ  
14.4%から11.4%

町長 国保加入者の86%が300万円未満の所得であるため、医療費の増加に見合った保険税収入を見込めず、一般会計か

ら法定外繰り入れをしています。

国保年金課長 給与収入300万円の場合、所得は192万円で保険税額は27万7千円、所得に占める割合は14.4%です。給与収入450万円の場合、所得は306万円、保険税額は37万8,600円、割合は12.4%、給与収入600万円の場合、所得は426万円、保険税額は48万5,500円、割合は11.4%となっています。〈その他の質問事項〉農業施策について



## 着手未着の調査 地籍調査の実施計画 今後の

渡辺 基議員

**問** 本町では、地籍調査の事業が未着手です。今後の計画について伺います。

## 官民境界等優先 調査手法を検討

町長 国・県の補助制度や現状の道路境界査定資料、地籍測量図等の活用を図り、まずは道路や水路等の公共物と民有地の境界を優先して調査する「官民境界等先行調査」を実施する手法などについて、検討を進めていきたいと考えています。



11月1日より運行開始の新町内循環バス

## 「町内循環バス」 田名バスターミナルへ

**問** 町内循環バスを田名バスターミナルへ繋げるルートの新設を考えたについて伺います。

## 路線バスと競合 現段階では困難

総務部長 田名バスターミナルまで循環バスを運

行することについては、循環バスと路線バスのルートが競合することとなり、それぞれが持つ役割が発揮できず、採算性の低下を招くといった課題なども生じることから、現段階では考えていません。

町長 本町では喫煙場所を指定し、分煙を進めるとともに喫煙マナーの徹底に努めています。また、喫煙マナーの順守と喫煙場所の周知徹底を図っているところです。

### 場所の指定と周知 意識徹底に努める

**問** JTなどの団体が喫煙マナー向上を訴えています。喫煙場所以外で喫煙している方が散見され、喫煙マナーが十分に守られていません。そこで都市公園の分煙について伺います。

## 喫煙マナーの向上 都市公園での分煙



阿部 隆之議員



### 法や条例に基づき 警察と連携し取締

**問** 本町には、町内外から多くの方が訪れています。同時に環境や騒音問題など様々な問題が起こっていることも現実です。特に騒音問題は高齢者や病気を患っている方にとっては安眠を妨げられるなど、深刻な問題につながります。自動車やオートバイなどの騒音対策について伺います。

## 自動車等の騒音対策

町長 「道路交通法」や「神奈川県暴走族等の追放の促進に関する条例」等に基づき、警察と連携した取締りが有効な手段であると認識しています。が、当該行為は深夜の時間帯に多く見受けられるものの、曜日や時間はまちまちであることから、取締りが難しいのが実情となっております。

〈その他の質問事項〉

愛川幼稚園前の信号機設置について

## 学用品費の支給 中学校入学前に



鈴木 信一議員

**問** 小学校6年生で就学援助費を受給している世帯へ、新入学用品費を中学校入学前に支給する考えについて伺います。

### 直近の所得で審査 先行は大変困難

教育次長 現在の就学援助制度上、中学1年生で支給する新入学用品費の先行支給であることから直近の所得である前年の所得で審査したいと考えています。中学生のみ先行支給することは大変難しいと考えています。

## 崩落箇所の二次災害防止策

**問** 半原の両向区で崩落した箇所の下には町道もあり、二次災害を防ぐために早急に対策をする必要があると考えます。町の考えについて伺います。

### 国の交付金必要 協会を通じ要望

建設部長 対策工事については多額の費用を要するため、これらの工事を

行う神奈川県では、財政事情もあることから、国の交付金を利用して進める方針としています。対策工事の促進が図られるよう、県・市町村で構成する神奈川県治水砂防協会を通じて、今後も国へ要望していきたいと考えています。

〈その他の質問事項〉  
買い物難民の対策について



中学校への入学準備は



## 大活字本の拡充策 現状と今後の展望

岸上 敦子議員

**問** 大活字本の蔵書拡充策の現状と今後の展望について伺います。

### 必要性高まる予想 利用者ニーズ把握

**教育長** 本町では、大活字本の購入を始めており、現在約160冊を所蔵しています。高齢化の進展に伴い、大活字本の必要性がますます高まること予想されることから、利用者のご意見を伺うとともに関係各課との連携を密にしなが、ニーズを把握し、蔵書の拡充などに努めていきます。



町図書館にある大活字本コーナー

## 婚活支援の取組みと目標

**問** 婚活支援の取組みと具体的な年度別の成果目標について伺います。

### 効率的な事業立案 参加者数200人

**町長** 本年度は愛川婚活支援センターと協働により、婚活支援パーティーと組み合わせる形で、町内の事業所、レクリエーションスポットをめぐるバスツアーを新たに追加、出逢いのサポートとあわ

せ町の魅力をPRする内容としたところです。これまでの実績や成果課題等の分析を踏まえた検討を行いながら、より効果的な事業を立案するとともに、成果目標については、総合戦略に掲げている平成31年度の目標値で1年間の婚活イベントへの参加者数200人を、当面の目標として事業の展開に努めていきたいと考えています。〈その他の質問事項〉子育て応援について

## 「業務継続計画(BCP)」 大規模災害発生時 模擬訓練の考え

佐藤 りえ議員



**問** 大規模災害が発生しても一定の業務が続けられるよう計画された業務継続計画(BCP)。業務継続体制の向上のため模擬訓練実施などの考えについて伺います。

### 職員防災訓練実施 実践形式で行う

**町長** 定期的に職員防災訓練を実施し、非常招集から災害対策本部の立ち上げ、各課で行う情報収集や、物資配給、応急医療対応など初期期活動に至る一連の手順を実践形式で訓練しています。



職員防災訓練の様子

## 食品ロス削減の取組み

**問** 食べられる状態にもかかわらず捨てられる食品ロス削減のための取組みや、啓発について伺います。

### 「もったいない」 意識啓発を図る

**町長** まずは町民の皆さんに「もったいない」の意識を持っていただき、消費期限と賞味期限などの周知も図っていききたいと考えています。

宴席等において出る食べ残し削減のため、開始後30分と終了前10分は席を離れず食事を楽しむサンマル・イチマル運動など実施している自治体も出ています。

本町でも食育の推進、生ごみの削減の観点からも食品ロスを減らす取り組みとして、まずは啓発ポスターを作成し、飲食店などの協力も得ながら意識啓発を図っていききたいと考えています。

町長 募集から交付決定まで一定期間を要するとともに決定がずれ込むと、事業の実施に十分な期間が確保できないことが懸念されます。協働のまちづくりを推進するため、よりよい研究をしていきたいと考えています。

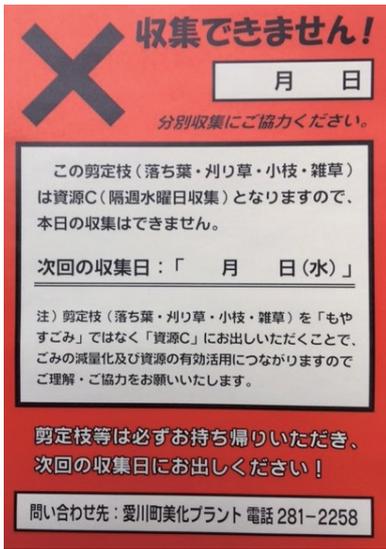
**交付決定期間要す  
よりよい制度研究**

**問** あいかわ町民活動応援事業について、通年または長期間で受け付けて、審査してほしいとの意見がありますが、町の考えについて伺います。

**町民活動応援事業  
通年・長期間受付**



佐藤 茂議員



「違反シール」による分別収集の啓発

町長 平成27年度に分析をした結果では、生ごみが41.4%で、その大半を占めており、適正に分

別して研究していきたいと考えています。

**分別の徹底  
違反シールで啓発**

また、再生可能エネルギーについては、地球温暖化の防止に有効と考え、効果的な方法、施設等について研究していきたい

**問** 本町では、ごみの減量化、再資源化への取り組みを積極的に進めてきました。取り組みの実績と今後の方針、また、再生可能エネルギー、バイオマス等の考え方について伺います。

**ごみの減量化・再資源化**

別されていない紙類が10%、プラスチック製容器包装や、剪定枝なども加えると、23%の資源物が燃やすごみの中に含まれている状況です。町では本年3月からは、剪定枝には違反シールを貼り、減量化や資源化に努めているところです。

町長 現在まで水路から越流する被害は発生していませんが、台風等の際にはパトロールを行い適切な管理に努めています。農政課長 平山橋側には水門があり、集中豪雨の際には、水利組合長等の管理者に連絡して開閉し

**現在まで被害なし  
パトロールを実施**

**問** 田代魚かん商店東側を流れる用水路は、豪雨時には急激に水位が上昇し急流化することから不安との声が寄せられています。考えを伺います。

**田代地区用水路  
豪雨時の状況**



小倉 英嗣議員

**問** 角田大橋から介護老人保健施設せせらぎの間の歩道整備を12年前の平成16年6月議会で強く要請したところですが、進捗状況について伺います。

**戸倉歩道整備の進捗状況**

ていただいておりますが、緊急時で連絡が取れない場合には、職員が対応しています。

角田大橋側55メートルを実施しました。残り380メートルのうち愛川幼稚園側153メートルを本年5月に整備し、残りの227メートルは、本年度と来年度の2カ年で整備する予定となっております。

**19年度から事業化  
28・29年度で整備**

町長 県は平成19年度に事業化し、平成22年度に

- ① ジビエの活用について
- ② 林道の管理について



整備された歩道

## 大きな災害発生時 防災・減災の状況



木下 眞樹子議員

**問** 近年、大きな災害が発生しており、その対策は大変重要なことと考えます。そこで、本町における防災・減災対策の状況について伺います。

### ハード・ソフト対策 対応力向上に努める

**町長** 非常用食料等の備蓄や公共施設の耐震化などのハード対策のほか、防災訓練、防災指導員研修会の開催などのソフト対策の両面から、防災・減災対策を推進し、町民皆さんの災害対応能力向上に努めていきます。

## 高齢者の支援方法

**問** 高齢化が急速に進行している状況の中、高齢者に対する支援方法について伺います。

### 定期的な訪問 一貫サービス提供

**町長** 町では、介護保険制度全般にかかわることや、体力維持や認知症を予防するための各種教室の案内などについて、広報紙等を活用して周知しています。

また、町が委託をしている3カ所の在宅介護支援センターでは、定期的な訪問し、暮らしにおける困り事など、相談、支援にあたっているところです。

今後も、医療、介護、予防、生活支援が一体となった地域包括ケアシステムを構築していく中で、相談から支援まで一貫したサービスが提供できる環境づくりに努めていきたいと考えています。



高齢者を対象にした「寿大学講座」

## 大規模災害支援 近隣市町村の体制



熊坂 崇徳議員

**問** 大規模な地震が30年以内に70%の確率で起こると言われています。本町でも行政、自治会、家庭での防災対策が行われていますが、大規模災害になると、本町のみの対策では対応ができません。

### 相互応援協定締結 県央8市町村でも

**町長** 神奈川県と県内の市町村で相互の応援に関する協定締結をはじめ、県央地域では8市町村で

**問** 町営住宅は、住宅に困っている低所得者の方々のための住宅です。本町でも約200戸が建設されています。そこで、現状と、今後の考えについて伺います。

### 高齢者の割合高い 借上げ方式等検討

**町長** 28年3月末現在、8団地191戸の管理戸数となっています。入居者の状況は60歳以上が4割を占めるとともに単身

## 町営住宅の現状と今後

県央地域市町村災害時相互応援支援等に関する協定を結んでいるところであります。



町営原白住宅

町営住宅は、住宅に困っている低所得者の方々のための住宅です。本町でも約200戸が建設されています。そこで、現状と、今後の考えについて伺います。

### 個人総括質疑

9月5日の本会議では、5名の議員が個人総括質疑を行いました。

# 会派代表総括質疑

ここが聞きたい！ そここが知りたい！

愛政クラブ

小倉英嗣議員



**問** 住宅用太陽光発電設備設置事業補助事業の地区別内訳について

町長 温室効果ガスを排出しない環境に優しいエネルギーの普及促進を図るために、住居に太陽光発電設備を設置する方に対し、その費用の一部を助成しているものです。1件当たりの補助額は、1キロワット当たり1万5千円で、その限度額は5万2千円となっています。平成27年度は、補助件数が41件であり、その補助金額は198万6千円

です。

地区別内訳としては、愛川地区が7件、高峰地区が5件、中津地区が29件となっています。

**問** 下水道雨水整備事業の成果と進捗状況について伺います。

町長 雨水整備工事の主なものについては、半原地区、原白地区では、宮沢排水区の雨水幹線整備工事を25年度から継続的に進めており、二井坂地区と半縄地区では、26年度から雨水整備工事を進め、28年度は舗装復旧

工事を行うこととしていきます。

次に、小沢地区では、大塚下工業団地南側地域の浸水対策として、既存排水路の流れがスムーズ

になるよう改修を行ったものです。

こうした雨水整備事業の取り組みにより、浸水被害の防止に努めてきたところです。

**日本共産党愛川町議員団 鈴木信一議員**

**問** プレミアム付商品券発行事業の成果と課題について

町長 昨年の6月1日から発売を開始し、発売3カ月後の8月末時点には、80.5%が換金された状況となっていることから、町内における短期間での直接的な消費喚起という点で、効果があつたものと認識しています。

本事業の課題については、大きな反響があつたために、商工会窓口での販売分も発売日翌日の午前中には完売となり、購入できなかった方から、今後実施する際には、先着順による販売方法などについて検討していただきたいという要望があつたところです。

**問** 給食管理経費、中学校給食の成果と課題について

教育長 成果としては、学校給食を生きた教材として、教科や特別活動等の指導、関連を持たせながら、発達段階に応じた指導ができるよう、年間計画に基づいた食育の取

り組みができていますものと考えています。

また、デリバリー方式の完全給食により、弁当を持参できない生徒に、給食の提供ができていないことや、栄養バランスを考慮した献立により、生徒の体の成長に寄与していることなども成果として挙げられます。

このように、中学校給食は、安定した利用と提供が図られています。より喫食率を高め、多くの生徒が喜んで食べるこ



プレミアム付商品券「愛川とくとく商品券」

新風あいかわ

阿部隆之議員

公明党

佐藤りえ議員

みらい絆

木下眞樹子議員

問 教育費減額の理由について

町長 主な要因としては、26年度に実施した高峰小学校外壁改修工事の1千489万3千円が皆減となったほか、私立幼稚園就園奨励費補助金が、対象者の減少や所得階層区分の移動により、26年度に比べ1千69万2千円の減額となったものです。

また、26年度に実施した文化会館の冷温水器修繕工事費の939万6千円も皆減となっています。

問 国民健康保険税増額の理由について

町長 26年度と比較すると、4千52万8千円の増額となっています。理由としては、24年度以降据え置いていた保険税の税率について、4年ぶりに見直しを行ったところであり、これにより現年度課税分が増となったことなどが主な理由です。

また、滞納整理の取り組みによる収納分では、現年度分と滞納繰越分の合計で前年度より約1千200万円の増額となったことから、滞納整理の強化も増額の要因となっているものと考えています。

問 自主財源が3億6千281万8千円減となった理由について

町長 26年度から27年度への繰越金が、2億1千400万円余りの減となったことが、大きな要因となっています。また、繰入金のうち財政調整基金の取り崩しを抑制したことにより、自主財源全体では3億6千281万8千円減の88億310万円となったものです。

なお、自主財源比率については、引き続き70%台を維持できており、行財政運営の自主性と安定性は概ね確保されているものと認識しています。

問 新町発足60周年記念サマーフェスティバル事業の総合的な評価について

町長 昨年8月23日に、新町発足60周年の記念事業として、多くの方の参加のもとで開催しました。



文化会館



高峰小学校



サマーフェスティバル

問 地方消費税交付金が前年度より58.5%増の要因について

町長 消費税率については、26年4月から、5%から8%に引き上げられました。

そして、市町村に交付される地方消費税交付金については、消費税引き上げ分3%のうち0.35%相当額が加算されて、交付されることとなりました。

消費税が国から市町村へ配分されるまでに一定の期間を要することや、27年度は税率の8%適用後の増収分の配分が平年度化されたことから、地方消費税交付金全体では3億1千80万、58.5%の増額となったものです。

問 自動車取得税交付金が前年度より36.9%増の要因について

町長 27年度は、税制改正により自動車取得税の排出ガス性能や燃費性能



に依じた特例措置であるエコカー減税について対象自動車や燃費性能に関する見直しが行われ、要件が厳しくなったことから、対象範囲が絞られる改正内容となったところですが。

したがって、減税分が縮小し、税収が増えたことから自動車取得税交付金も前年度に比べ1千213万6千円、36.9%の増となったものです。

# 討

# 論

最終日の21日には、5党派による討論が行われましたので、一部を紹介します。

## 賛成

(愛政クラブ) 馬場 司議員

財政基盤の強弱をあらわす指標となる財政力指数については、平成27年度の単年度数値で0.9

90となり、2年ぶりに交付団体となりました。さらなる健全な財政運営をお願いします。

歳出については、総務費では、交通施策の推進として町民の悲願である小

田急多摩線の延伸について、唐木田駅からJR相模線上溝駅までの延伸の答申が示されたことなどについて高く評価します。

民生費では、小児医療費助成事業の助成対象を中学3年生までに拡大し、

子育て世帯の経済的負担の軽減に努めたことなどについて評価します。

衛生費では、健康プラザを活用し各種の母子保健事業や健康増進事業を実施するなど、健康づくりの推進に努められたことに関して評価します。

農林水産業費では、新規就農者への家賃の一部助成を行うほか、農作物への被害防止対策を強化しており、評価します。

商工費では、「あいかわ公園つじまつり」などを新町発足60周年記念事業と位置づけて開催したほか、観光客誘致と観



今後も健康づくりの拠点として期待される「健康プラザ」

光PRに努めたことに対し評価します。

土木費では、スポーツ振興くじ助成金を活用し第1号公園テニスコートの改修を行ったことは、

スポーツの町宣言の町として高く評価します。消防費では、消防団員の定数確保のために団員の皆さんの意見をくまなく

執行状況については、財政力指数、経常収支比率など指標全般では、おおむね良好・適切に執行されています。

歳出については、民生費が37.9%で、大きな割合を占めています。町民皆さんが暮らしをしていくうえで必要不可欠の予算執行であり、適切であると思います。

教育費については、魅力ある学校づくり、特色ある学校づくりも積極的に進めていただきたいと思います。

農林業では、新規就農

く取り入れ、取り組んでいただきますようお願いいたします。

教育費では、小・中学校へのエアコン設置に向けた基本施設設計を行うなど、教育環境の整備、

充実に努め、各学校に設置したいじめ防止等の対策組織を活用し、評価します。

者に適切な支援を行い、遊休農地解消に努めていただきたいと思います。

商業では、中小・零細業者に対する預託金など、従前からの事業の充実を進めています。今後とも力を入れていただきたいと思

観光対策、新たに愛川ブランド推進事業を起し、経済効果も出ていることから、さらなる充実をお願いします。

環境対策では、生ごみの減量化を進める救世主ともなり得る「愛川キエーロ」が登場しました。

普及に努めていただきたところ。です。

防災対策では、最近の気候変動の中では、地震ゲリラ豪雨による水害が発生しています。適切な対応をお願いします。

道路関係では、区要望については、適切に今後の事業に反映するよう努力をしていただきたいと思います。

また、自治体においても情報化が進んでおり、個人番号制度などを含めて万全に取り組んでいただきたいと思



生ゴミ減量化への効果が期待される「愛川キエーロ」



## 意見交換会を実施

町議会では、「町民に開かれた議会」を推進するため、各行政区長との意見交換会を実施しました。貴重なご意見、ご提案をいただき、ありがとうございました。

■ 区長会との意見交換会  
開催日

6月22日(水)

場所

町福祉センター

15人参加

テーマ

・ 「平成27年度の意見要望等への対応」

・ 「政務活動について」

・ 意見交換

■ 実施後の対応

いただきましたご意見等は、内容を精査し、必要に応じて町へ要望してまいります。

今後、引き続き意見交換会を開催し、「開かれた議会」を推進していきます。

### 平成28年度 区長会との意見交換会 実施報告書(要約版)

| No. | 意見・要望等要旨  | 当日の回答   |
|-----|---|---|
| 1   | 半原水源地跡地の取り扱いについて会議が開催されたようですが、どのような会合なのか。   | 平成28年度において、町で行う半原地域における観光拠点づくり調査に合わせて、地元での意見をまとめるため、愛川地区の区長及び議員のほか、20団体の各種団体の方にも加入していただき、「愛川地区まちづくり協議会」を設立し、本年5月に設立総会を開催したものです。今後は、会員をはじめ、住民のさまざまな意見を集約しながら、この取り扱いについて協議していきます。               |
| 2   | 視察をした中では、町にとって優れている面やマイナスの面等もあったと思いますが、それを参考にしながら、本町におけるデマンド交通システムの導入や空き家対策等の施策にぜひ役立て進めていただきたい。 | デマンド交通システムの導入については、先進地等の視察も行いながら、本町にもその環境づくりをしてほしいと町に提案しています。また、空き家対策についても、平成28年度から実施する「空き家対策地区連絡会」による検討など、今後もさまざまな施策を研究し、取り組んでいきます。  |
| 3   | 新たな信号機と横断歩道の設置に関する手順についてお聞きしたい。   | 町では、各行政区等の要望を受けて住民課から厚木警察署へ要望をしています。その後は、県警本部や公安委員会において、要望箇所の状況等を総合的に判断し、予算の範囲の中で、優先順位が高い箇所に設置をするという流れになっています。  |
| 4   | 違法駐車(マルエツ前の道路)の関係で、議会にも協力していただきたい。  | この道路については、以前からそのようなお話をいただいているため、地元議員や町の住民課からも、その都度、取り締まりのお願いをしていますが、改善には至っていません。今後においては、区長や町、議員と連携した取り組みも必要になるのではと考えています。   |
| 5   | 近隣に迷惑がかかるような犬の鳴き声の相談について、町の条例等で対処できないか。   | 「愛川町みんなで守る環境美化のまち条例」第11条に「飼犬等が他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼさないよう適正に管理しなければならない。」とあり、「飼犬等が他人に対しかみついたり、飛びついたりすることで危険を与えたりする、また、飼育場所が不潔になることでの悪臭を発生したり、鳴き声で不快を生じたりさせることのないようにすること。」に該当すると思われるので、環境課に相談してください。 |
| 6   | 周りを高い塀で囲み、廃棄物等を積んでいるような施設は、どのような指導をして許可をされているのか。また、許可後に環境関係等の条例で是正させることは可能か。                    | 調整区域で農地の場合については、農業委員会で申請を受けて県知事が許可をしていますが、周りを塀で囲む場合には、一部からは、中が見えるように指導をしています。許可後の是正については、都市計画上、土地利用の許可を得られる場所なので、環境関係等の条例で規制をすることは、なかなか難しい部分があると思います。   |

## 友好都市

### 立科町議会と

#### 交流

8月6日(土) 友好都市である長野県立科町で「立科えんどこ」が開催されました。正副議長をはじめ、7人の議員が参加するとともに、立科町議会議員と交流しました。



## 議員研修会

10月14日(金) 役場会議室において、議員研修会が開催されました。  
講師 神奈川県町村議会議長会事務局 参事  
沼田 卓 氏

演題  
「議会基本条例の現状と課題について」

## 常任委員会行政視察

町議会では、高度な議会審議に資することを目的に、先進自治体の行政事例の調査、情報交換を隔年で実施しています。

詳しい内容については、次号に掲載する予定です。

■ 総務建設常任委員会  
10月3日から5日にかけて、兵庫県加古川市及び岡山東真庭市、新見市への視察を予定していましたが、台風18号接近の影響を考慮し、延期となりました。



教育民生常任委員会  
■ 視察日及び場所

10月19日(水)

広島県呉市

・ ジェネリック薬品促進の取り組みについて

10月20日(木)

広島県尾道市

・ おのみちスローフードまちづくり事業について

10月21日(金)

広島県福山市

・ 第2次福山市健康増進計画(健康ふくやま21)

及び第2次福山市食育推進計画(元気な福の山)

について

ご覧ください  
会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、9月定例会の会議録は、12月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

次回定例会

次回、12月定例会は下表のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、11月22日(火)に開催予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成28年 第4回定例会日程(予定)

| 月  | 日  | 曜 | 会議名              |
|----|----|---|------------------|
| 12 | 2  | 金 | 本会議 (提出議案の説明)    |
|    | 6  | 火 | 本会議 (一般質問)       |
|    | 7  | 水 | 本会議 (一般質問)       |
|    | 8  | 木 | 総務建設常任委員会        |
|    | 9  | 金 | 教育民生常任委員会        |
|    | 15 | 木 | 本会議 (総括質疑・討論・採決) |

施設設置会議録

- 役場町政情報コーナー
- 半原出張所
- 中津出張所
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用に音声テーパー化されています。ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。(内線3792)



あいちゃん ©愛川町

今号から、これまでの「町民の声」に代わって新企画「議会クイズ」をスタートしました。皆さんの応募お待ちしております！

紙面の変更について

第1回議会クイズ

問1 愛川町議会には会派はいくつありますか？

- ① 3つ ② 5つ ③ 7つ

問2 9月定例会では、陳情は全部で何件ありましたか？

- ① 3件 ② 5件 ③ 7件

問3 今号で町の観光キャラクター「あいちゃん」は何人載っているでしょうか？(写真もよく見てください)

- ① 3人 ② 5人 ③ 7人以上

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で2名の方に、商品券をお贈りします。

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号・議会だよりの感想をご記入のうえ下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 11月30日(水)(郵送の場合は当日消印有効)

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局

●ファクスの場合 046-286-5021

●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

☆正解と当選者は次号で発表します。

編集後記

9月定例会は平成27年度事業の決算審議などを中心に一般質問、個人・会派代表総括質疑など活発な議論が行われました。

また、第5次愛川町総合計画後期基本計画議会検討会を立ち上げ、議員全員で調査・検討を行い、町側に対し提言書・意見書を提出しました。

町議会も新体制となつてからちょうど1年が経過しました。今後も町民の皆様の声を聴き、開かれた議会を推進し、より一層愛川町の発展に力を尽くしてまいります。

議会だより編集委員会

委員長 馬場 司

副委員長 熊坂 崇徳

委員 阿部 隆之

委員 岸上 敦子

委員 鈴木 信一

委員 山中 正樹